



# 草津市版地域再生計画



2018年10月

草津市

## はじめに

わが国におきましては、近年、急速な少子高齢化の進展、人口減少などから社会経済情勢が大きく変化しています。こうした中、地域の活力の向上及び持続的発展の観点から、地域における地理的特性や自然的特性及び文化財等を最大限に活用した、自主的かつ自立的な取組みが推進されています。

本市は、全国的な人口減少社会の中であって、現在も人口増加を続け、人口の増加傾向は2030年から2040年頃まで続くと予測される全国的にも極めて稀な都市であります。しかしながら、市街化調整区域においては人口減少が既に進行している地域もあり、2040年には30%以上の人口が減少すると予想される地域もございます。また、高齢化率についても市街化調整区域では高く、2040年には36%まで上昇することが予想されており、将来、地域コミュニティを維持することが困難になる恐れがあります。こうした状況に陥ることなく、住民の方が将来にわたって住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう「草津市版地域再生計画」を策定したところでございます。

この計画では、「これからも、ずっと住みたい、住んでみたい健幸なまち」を基本理念とし、人口減少や少子高齢化などが進行している市街化調整区域に重点を置き、郊外部における地域コミュニティの維持や生活機能を確保し、地域で生活するすべての人が、便利に、快適に、健幸に暮らすことができる持続可能なまちづくりを目指します。

そして、本計画に加え、「草津市立地適正化計画」、「草津市地域公共交通網形成計画」を合わせた3つの計画がともに連携し、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のまちづくりに取組んでまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重な御意見や御提案をいただきました市民の皆様、御審議いただきました草津市都市計画審議会委員の皆様にご感謝申し上げますとともに、今後の地域再生の推進に向けて、地域の実情に応じた取組みが重要となりますことから、地域の皆様の積極的な御意見や御提案を心からお願い申し上げます。

平成30年10月

草津市長 橋 川 渉



## ◇ 目 次 ◇

<b>第1章 はじめに</b> .....	<b>1</b>
1. 計画策定の目的と期間 .....	1
2. 草津市立地適正化計画・草津市地域公共交通網形成計画・草津市健幸都市基本計画との連携 .....	2
3. 計画期間 .....	3
4. 計画の対象区域 .....	3
<b>第2章 市街化調整区域の現状分析</b> .....	<b>5</b>
1. 人口等の状況 .....	5
2. 生活利便施設の状況 .....	9
3. 公共交通の状況 .....	12
4. 地域資源の状況 .....	13
5. 市民アンケート調査 .....	22
<b>第3章 地域が抱える課題の整理</b> .....	<b>24</b>
1. 各学区の課題 .....	24
2. 現状分析と課題の整理 .....	31
<b>第4章 将来ビジョン</b> .....	<b>32</b>
1. 市街化調整区域における計画の基本方針 .....	32
2. 各学区のまちづくりの方向性と将来ビジョン .....	36
<b>第5章 実現方策の検討</b> .....	<b>57</b>
1. 事業化に向けた検討体制 .....	57
2. 支援制度の活用 .....	58
3. 目標値の設定 .....	64
4. 計画の評価 .....	66